

ノーザンエッジ23-2における岩国飛行場への一時展開について

意義

- ノーザン・エッジ23-2は、令和5年7月に、米軍が太平洋地域において計画している大規模演習であり、その一環として、日本国内の複数の自衛隊基地や米軍基地への機動展開訓練等を予定。
- 各基地において米軍展開部隊を受入れ、共同での即応能力を向上させるとともに、空自と米軍展開部隊等による共同訓練を予定しており、部隊の戦術技量及び日米共同対処能力の向上を図る。

訓練概要

- 訓練期間：令和5年7月2日（日）～7月21日（金）
- 展開拠点：岩国飛行場、嘉手納飛行場
- 展開機種：
 - 【岩国飛行場へ展開】
 - ・ F-16 12機程度
 - ・ F-15E 12機程度
 - 【岩国飛行場からの展開】
 - ・ FA-18 12機程度（嘉手納飛行場へ展開）
 - ・ F-15E 9機程度（築城基地及び硫黄島基地へ展開）

防衛省の対応

- 防衛省としては、展開する米軍戦闘機について、岩国日米協議会の確認事項の遵守等を申し入れており、今般の一時展開による地元への影響が最小限となるよう引き続き努めてまいります。